
■□■

□■□ 事故防止メルマガ「Think」／Vol. 285

■□■ 【発行】シンク出版株式会社 <https://www.think-sp.com/>

// INDEX //

- 1・2023年10月後半の安全管理ごよみ
- 2・危機管理意識を高めよう～飲酒運転が増加傾向にあります！
- 3・交通事故の裁判事例～シートベルト非着用の乗客に10%の過失を認定
- 4・今日の朝礼話題～歩行者との側方間隔を保持しましょう
- 5・【新発売】手帳「2024トラック運行管理者手帳」
- 6・【新発売】手帳「2024バス運行管理者手帳」
- 7・【好評発売中】小冊子「やる気を持って管理業務を進めよう！（改訂新版）」
- 8・【好評発売中】自己診断テスト「事故を防ぐヒューマンエラー危険度診断」

// //

■ 10月後半の安全管理ごよみ

◆ 1日（日）～31日（火）

——体力づくり強調月間（スポーツ庁）

——全国不正軽油撲滅強化月間（軽油引取税全国協議会）

——自動車点検整備推進運動強化月間（国土交通省）

◆ 17日（火）～23日（月）

——薬と健康の週間（厚生労働省）

◆ 19日（木）

——交通事故総合分析センター第26回交通事故・調査分析研究発表会

◆ 21日（土）～22日（日）

——第55回 全国トラックドライバー・コンテスト

※詳しくはシンク出版のWEBサイト「今月の運転管理」で紹介しています。

【今月の運転管理↓】

<https://www.think-sp.com/2023/09/11/kongetsu-untentkanri-2023-oct/>

■危機管理意識を高めよう

『飲酒運転が増加傾向にあります！』

最近、飲酒運転が増加傾向にあるという各地の警察本部の発表を見るようになりました。

都道府県にもよりますが、たとえば、福岡県では2023年に入り7月末までに酒気帯び運転などの疑いで295人が逮捕され、昨年（2022年）の同時期に比べて45人増えています。

また、愛媛県内では、7月までの飲酒運転の検挙件数は昨年同時期と比べて7件増えて、118件でした。

警察庁の統計でも今年7月末までの死亡・重傷事故のうち、飲酒運転が原因と考えられる事故は全国で249件で、昨年同時期と比べて39件多くなっています。…

【続きを読む↓】

<https://www.think-sp.com/2023/10/02/kikikanri-inshu-sido/>

■交通事故の裁判事例

今回は、シートベルトを着用しないでタクシーの後部座席に乗っていた乗客が事故によって負傷した損害について、乗客の過失の有無が争われた事例を紹介します。

『乗客のシートベルト非着用は乗客の注意義務違反とし10%の過失を認定』

【事故の状況】

平成26年8月26日午前5時54分ごろ、Aはタクシーを運転して神戸市内の交差点手前を走行中、対面信号が赤であるにもかかわらず交差点に進入したため、左から進入してきたC車と衝突しました。

この事故でタクシーの助手席側後部座席に乗車していたBは、シートベルトを着用していなかったため、左後ろドアの窓に顔面等を打ち付け、左顔面打撲、顔面挫創等の傷害を負いました。

損害賠償の算定に当たって、AらはBがシートベルトを着用していなかったために座席上に身体を保持できず、Bの損害拡大に寄与したことは明らかであり、その過失は20%を下らないと主張しました。

これに対してBは、Aに重大な過失がある他、A車の左側面部が大破するような事故態様からすれば、シートベルト着用の有無にかかわらず、Bが重傷を負ったことは明らかであるし、Aはタクシー運転者として、搭乗時及び乗車中にBにシートベルト着用を求めたことはなかったとして、過失はないと主張しました。

【裁判所の判断】

「事故発生自体にはBの過失はないものの、Bがシートベルトを着用していなかったために、その上半身や腰部が座席に固定されておらず、大きく揺さぶられて頭部が窓ガラスに当たるなどして、左顔面挫創等の傷害を負うに至ったものと推認できる。

したがって、Bがシートベルトを着用していなかったことは、損害拡大に寄与したものといえることから、公平な損害の分担の観点から、10%減額するのが相当である」と判示しました。

Bのシートベルト非着用は、Aの過失もあるという主張については、「道路交通法上、運転席に限らず全席のシートベルト着用が義務づけられており、運転者の指示の有無にかかわらず、自らの判断で着用すべきものである。また、A車はタクシーで、シートベルト着用を促すステッカーが貼られており、着用指示等の有無にかかわらず、Bのシートベルト非着用は、Bの過失ないし注意義務違反と評価すべきである」

と、否定しました。

(神戸地裁 令和2年6月11日判決)

■今日の朝礼話題

『歩行者との側方間隔を保持しましょう』

さる9月27日午前7時45分ごろ、山形県内の市道で、集団で登校していた小学1年生の女の子が、正面から走ってきた乗用車にはねられ、重傷を負う事故が発生しました。

詳しい事故原因は、警察が調査中とのことですが、歩行者との事故を防止するための交通ルールの1つとして「側方間隔の保持」が挙げられます。…

【続きを読む↓】

<https://www.think-sp.com/2023/10/03/tw-sidesense-pedestrians/>

シンク出版WEBサイトでは、朝礼時や会報作成時に参考にしていただける

「今日の朝礼話題」を毎日（弊社営業日）更新しています。

（情報のご利用につきましては、以下「当サイトのご利用について」をご確認ください↓）

<https://www.think-sp.com/about/>

■【新発売】手帳「2024トラック運行管理者手帳」
手帳「2024バス運行管理者手帳」

※仕様 A6判／222ページ／表紙ビニールレザー／本色2色刷

※価格 各1,540円（税込・送料実費）

今年も「2024トラック運行管理者手帳」「2024バス運行管理者手帳」の販売を開始いたしました。

両手帳とも、運行管理者として知っておきたい最新の法改正などを「法令編」「知識編」「データ編」としてまとめており、煩雑になりがちな運行管理関係の法令知識をお手元で確認していただくのにとっても便利です。

また、スケジュール欄も充実しており、日々の運行管理に役立つ手帳となっております。

【詳しくはこちら↓】

<https://2014unkoukanridiary.jimdofree.com/>

■ 【好評発売中】 小冊子「やる気を持って管理業務を進めよう！（改訂新版）」

※仕様 A4判／24ページ／カラー刷

※価格 385円（税込・送料実費）

安全運転管理者には、ドライバーの安全な運転を確保するために実施すべき法的責務があります。

2022年4月には、道路交通法施行規則が改正され、安全運転管理者が行うべき業務が7つから9つに増えました。

本冊子は、9つそれぞれの根拠法令に基づき、やる気のない管理者、やる気のある管理者の業務に対する姿勢をマンガで比較しており、指導・管理の内容によって事故や違反が生じるリスクを理解することができます。

また、項目ごとの指導・管理のポイントをイラストやグラフでわかりやすく解説しているため、毎日の管理業務に役立てていただくことができます。

【詳しくはこちら↓】

<https://x.gd/n5Des>

■ 【好評発売中】 自己診断テスト「事故を防ぐヒューマンエラー危険度診断」

※仕様 A4判／4ページ（複写式）／カラー刷

※価格 550円（1セット＜5冊＞・税込・送料実費）

運転時に一度ミスを起こしてしまうと、交通事故へと結びつくリスクが高いため、運転時のミスは極力避けなければいけません。

本テストは、このような事故に結びつきやすいミスを「ヒューマンエラー」として、「手抜き行動」や「思い込み・錯覚」など6つの危険度に分類しています。自身の運転を振り返り、48の質問に「ハイ」「イエ」で答えていただくことで、自身がどのようなヒューマンエラーを起こしやすいかを診断することができます。

10分程度のテスト終了後は、ヒューマンエラーを起こす危険度が高い運転行動を改善するためのアドバイスを読んでいただくことで、テストの結果を日々の安全運転に活かしていただけます。ぜひご自身のヒューマンエラー危険度を把握して、今後の事故防止へとお役立てください。

【詳しくはこちら↓】

<https://x.gd/mM0Dz>

【事故防止メルマガ「Think」のバックナンバーはこちら↓】

<https://goo.gl/duF5ws>

本メールマガジンは、名刺交換をさせていただいた方々にも送信させていただいております。今後、メールマガジンの購読を希望されない場合は、お手数ですが下記アドレスまでご連絡をいただきますようお願いいたします。

（令和5年10月3日送信）

★X（旧ツイッター）アカウントを開設しました。是非、一度ご覧ください！

<https://twitter.com/thinkshuppan>

※本メールは「MSゴシック」などの等幅フォントで最適に表示されます。



～人と車の安全な移動をデザインする～

シンク出版株式会社

大阪市北区天神橋1-7-15 ビアリッツ天神橋501

TEL 06-6809-1989

FAX 06-6809-1984

Eメール mail@think-sp.com

URL <https://www.think-sp.com/>

